

Web UIを使用したCatalyst 9000スイッチの管理

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[Web UIアクセス](#)

[アップグレード](#)

[インストールモード](#)

[非アクティブなファイルのログの削除](#)

[インストールログ](#)

[ファイルの管理](#)

[スイッチからのコピー/スイッチへのコピー](#)

[関連情報](#)

[Cisco Bug ID](#)

はじめに

このドキュメントでは、Web UIを使用してCatalyst 9000スイッチを管理する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Catalyst 9200
- Catalyst 9300
- Catalyst 9400
- Catalyst 9500
- Catalyst 9600
- Cisco IOS® XE 17.9.1以降のバージョン



注：シスコの他のプラットフォームでこれらの機能を有効にするために使用されるコマンドについては、該当するコンフィギュレーション ガイドを参照してください。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

Webユーザインターフェイス(Web UI)は、組み込み型のGUIベースのツールで、デバイスを管理してユーザエクスペリエンスを向上させることができます。CLIの専門知識がなくても、Web UIを使用してデバイスの構成、モニタ、およびトラブルシューティングを行うことができます。

注:Web UIアクセスのハードウェアシステム要件は、各IOS XEバージョンのリリースノートに記載されています。

設定

Web UIアクセス

Web UIにアクセスするには、次の設定が必要です。

1. HTTP(S)サーバが有効 (デフォルトで有効) で、ローカル認証を使用している。
2. ローカルPCから到達可能なレイヤ3インターフェイス。
3. ローカルユーザアカウント。

```
show running-config | section http
```

コマンドを使用して、HTTP(S)サーバが有効になっていることを確認します。次のコマンドは、HTTPサーバが有効になっていて、認証にローカルのクレデンシャルを使用していることを示しています。

```
<#root>
```

```
Cat9k#
```

```
show running-config | section http
```

```
ip http server <--- HTTP server enabled
```

```
ip http authentication local <--- Use local credentials for authentication
```

```
ip http secure-server <--- HTTPS server enabled
```

```
destination transport-method http
```

また、show ip http server statusコマンドを使用してHTTP(S)サーバが有効になっているか検証することもできます。

```
<#root>
```

```
Cat9k#
```

```
show ip http server status | include server status
```

```
HTTP server status: Enabled
```

```
HTTP secure server status: Enabled
```

スイッチのレイヤ3インターフェイスがローカルPCから到達可能であることを確認します。レイヤ3インターフェイスは、管理インターフェイスまたはスイッチ仮想インターフェイス(SVI)です。次のコマンドを使用します。

```
<#root>
```

```
Cat9k#
```

```
show running-config interface vlan 10
```

```
Building configuration...
```

```
Current configuration : 94 bytes
```

```
!
```

```
interface Vlan10
```

```
description MGMT
```

```
ip address 10.1.1.1 255.255.255.0 <--- IP address configured in the SVI VLAN 10
```

```
no ip redirects
```

```
end
```

```
Cat9k#
```

```
show ip interface brief | exclude unassigned
```

```
Interface IP-Address OK? Method Status Protocol
```

```
Vlan10 10.1.1.1 YES manual up up
```

```
<--- SVI VLAN 10 is UP/UP
```

```
Cat9k#
```

```
ping 10.1.1.10
```

```
Type escape sequence to abort.
```

```
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.1.1.10, timeout is 2 seconds:
```

```
!!!!
```

```
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 1/1/1 ms <--- Ping from the switch to the 10.1.1.10
```

特権レベル15で設定されたローカルユーザアカウントがあることを確認します。特権レベル1 ~ 14を使用する場合、または特権15を明示的に設定しない場合、Web UIはモニタリング目的でのみアクセスできます。特権レベル15は、Web UI設定ツールおよび管理ツールへのフルアクセスを許可します。

```
<#root>
```

```
Cat9k#
```

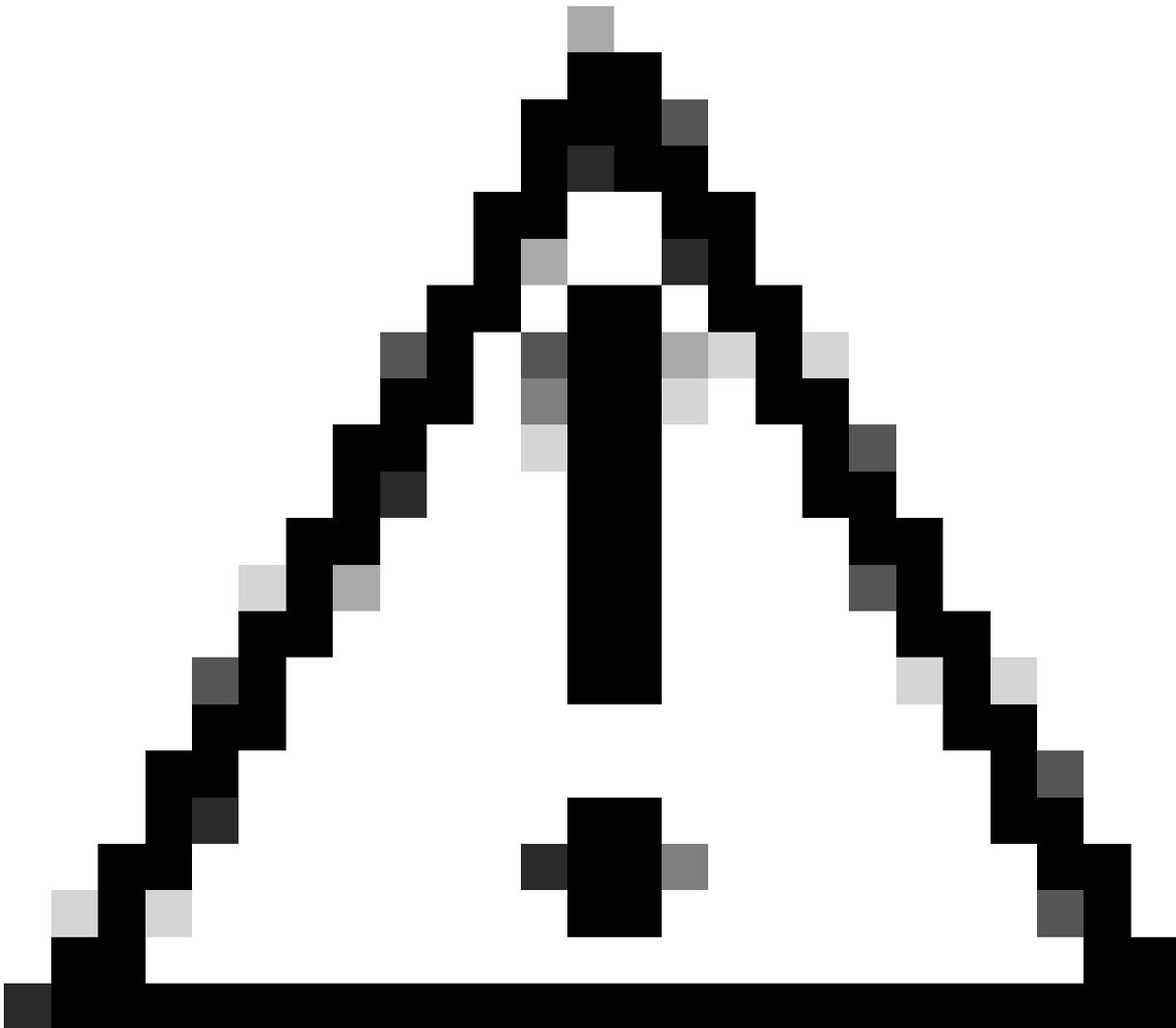
```
show running-config | include username
```

```
username cisco privilege 15 secret 9 $9$0hzcXmr/bfxxaU$XdMzC1B45nCyLJ.9Li3q94JHh9uDWEq9urVf4YUKfnQ <---
```

アップグレード

インストール モード

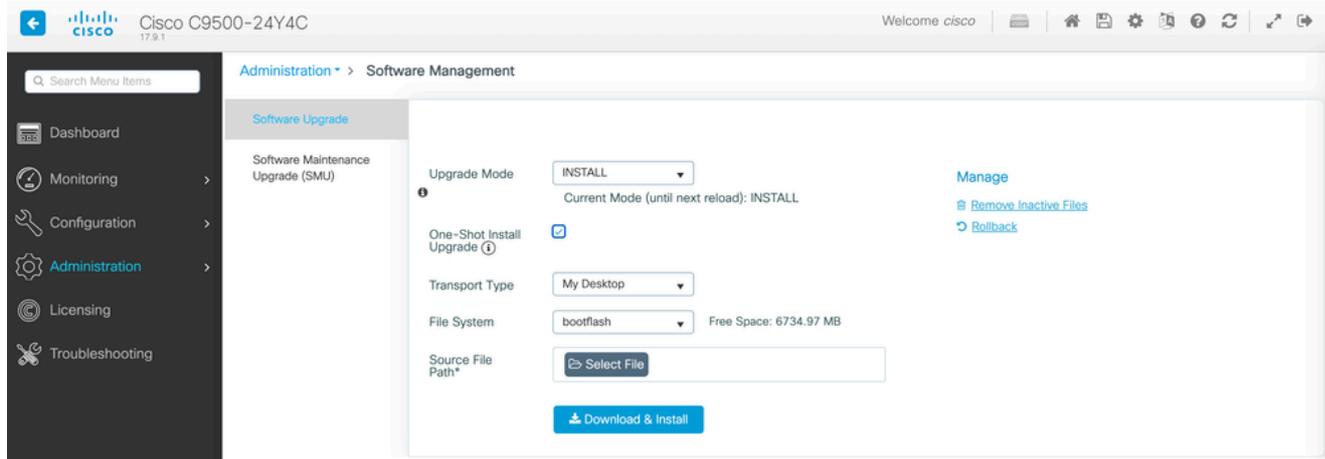
Web UIソフトウェア管理ツールを使用すると、ローカルPCにあるソフトウェアイメージファイルを使用してスイッチをアップグレードできます。この方式では、イメージファイルはHTTPを介してスイッチにコピーされるため、FTP/TFTP/SCPサーバやUSBフラッシュドライブからイメージをコピーする必要はありません。



注意: Web UIを使用したアップグレードは、IOS XE 17.9.1以降のリリースでサポートされています。以前のソフトウェアバージョンでは、Web UIを介したアップグレードやダウングレードはサポートされていません。

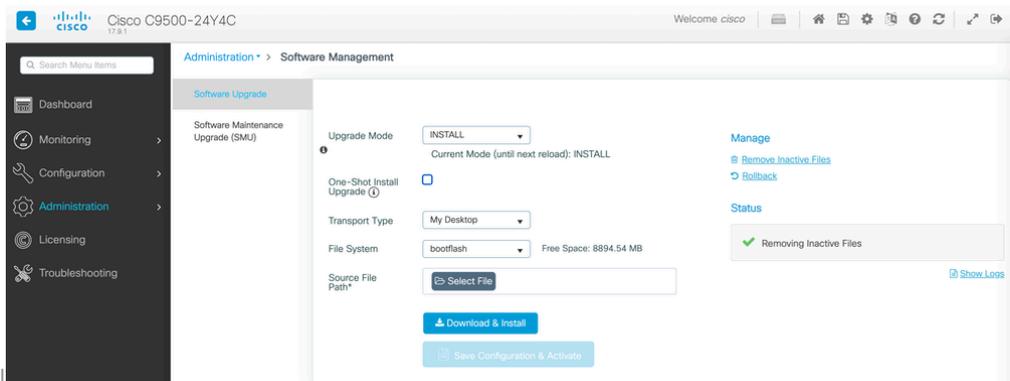
-
- サポートされているインターネットブラウザにアクセスするには、スイッチに設定されているレイヤ3インターフェイスのIPアドレスを入力します。
 - スイッチに設定されたローカルクレデンシャルを使用してログインします。
 - ページ内を移動し **Administration > Software Management** で選択します。

Software Upgrade ソフ



トウェア管理ウィンドウ

- [Manage]で、使用中でないインストールファイル(.bin、.pkg、.conf)をクリーンアップする**Remove Inactive Files** 場合にクリックします。確認を求めるポップアップウィンドウが表示されたら、Yesを選択します。この操作を開始すると、ステータスパネルが表示されます。この操作の進行状況**Show Logs** を表示するには、をクリックします。この操作が完了したら、フラッシュに少なくとも1 GBの空き領域があることを確認します。



非アクティブなファイルの削除操作

- ドロップ**Upgrade Mode** ツップダウンリストから、**INSTALL** を選択します。
- チェックボックスをオンにすると、アクティブ化の後にスイッチがリロードされ、新しいソフトウェアが起動します。**One-Shot Install Upgrade** を選択します。
- ドロップ**Transport Type** ツップダウンリストから、バイナリソフトウェアイメージファイル (.binファイル) **My Desktop** をローカルPCからアップロードすることを選択します。 .binファイルがすでにスイッチのフラッシュにある場合は、Deviceを選択してファイルを選択できます。

File System

- のドロップダウンリストから、bootflashを選択します。

Source File Path

- の下にある**Select File** をクリックして、ローカルPCにあるバイナリソフトウェアイメージを表示します。

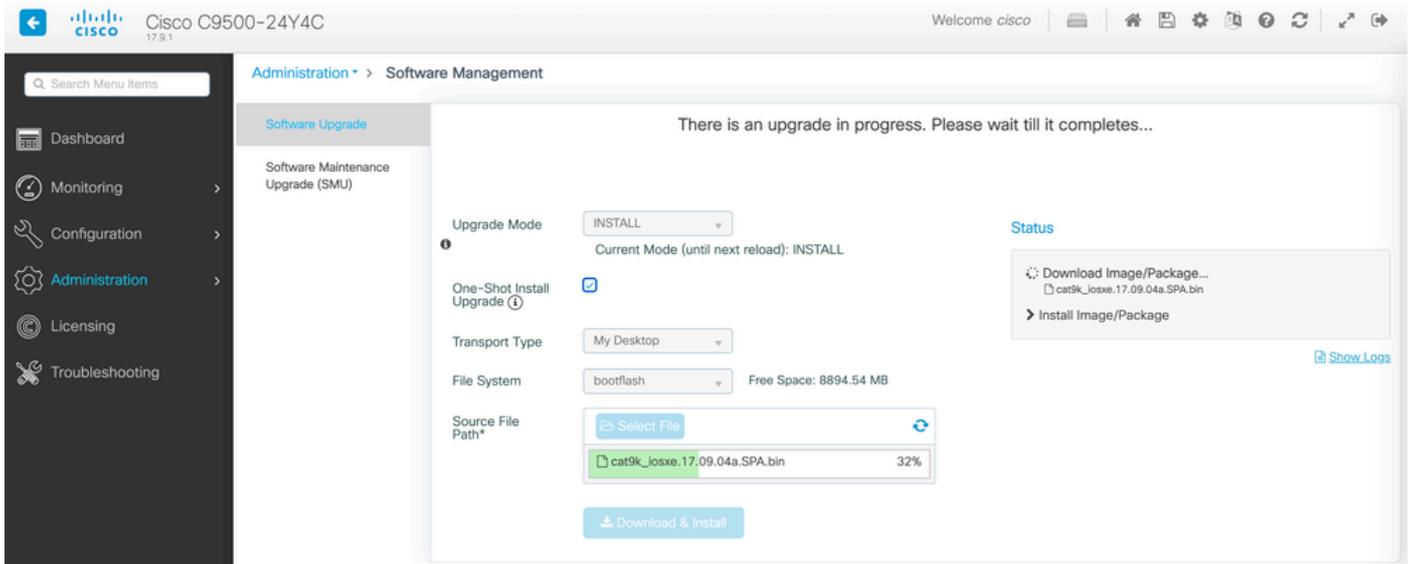
Download & Install

- をクリックしてアップグレードプロセスを開始します。確認を求めるポップアップウィンドウが表示されたら、を選択します **Yes**。確認後、イメージがスイッチにダウンロードされ、インストールされてアクティブ化されます。その後、スイッチがリロードされ、新しいソフトウェアがコミットされます。この操作を開始すると、ステータスパネルが表示されます。**Show Logs**をクリックすると、この操作の進行状況が表示されます。



注：スイッチがリロードすると、セッションがタイムアウトする場合があります。その場合は、ブラウザウィンドウをリロードしてログインします。





ソフトウェアのアップグレード中

非アクティブなファイルのログの削除

Remove Inactive Filesの操作中に表示されるログの例を次に示します。

```
Initiating install_remove_inactive to remove inactive files install_remove: START Wed Jan 31 17:49:42 UTC 2024 Cleaning up unnecessary package files
```

インストールログ

正常なアップグレード中に表示されるログの例を次に示します。

```
install_add_activate_commit: START Wed Jan 31 18:02:27 UTC 2024 install_add_activate_commit: Adding PACKAGE install_add_activate_commit: CH
```

ファイルの管理

スイッチからのコピー/スイッチへのコピー

Web UI File Managerツールを使用すると、スイッチからローカルPCに、またはその逆にファイルをコピーできるため、外部のFTP/TFTP/SCPサーバを使用する必要がありません。これは、バイナリトレースファイル、パケットキャプチャ、クラッシュファイル、システムレポートなど、スイッチからファイルを抽出する必要がある問題をトラブルシューティングする際に役立ちます。



注：アップロードできる最大ファイルサイズは1 GBです。

- サポートされているインターネットブラウザにアクセスするには、スイッチに設定されているレイヤ3インターフェイスのIPアドレスを入力します。

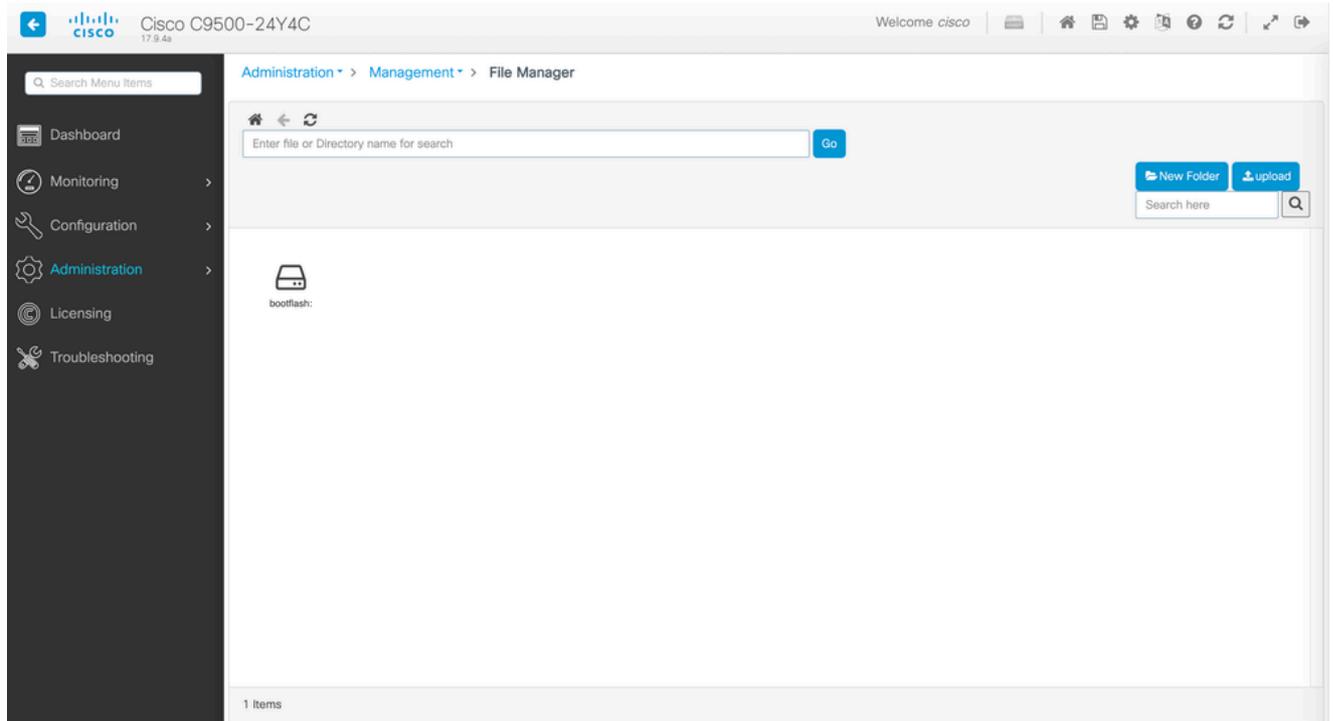
- スイッチに設定されたローカルクレデンシャルを使用してログインします。

Administration > Management > File Manager

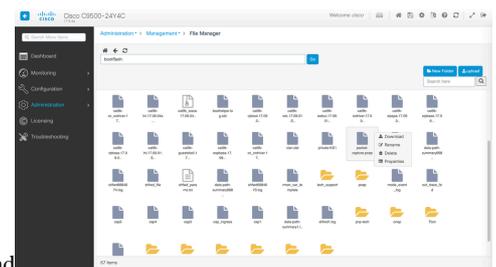
- の順に移動します。

bootflash:

- を選択します。これは、ファイルのコピー先またはコピー元のディレクトリです。



ファイルマネージャウィンドウ



- ファイルをダウンロードするには、ファイルを右クリックして、Download

*Download a File using the File Manager*を

選択します

- ファイルをアップロードするには、Uploadをクリックし、アップロードするファイルを選択します。選択したディレクトリにファイルがアップロードされます。画面上部の経過表示バーに、アップロードの進捗状況が表示されます。

関連情報

- [Catalyst 9000 スイッチのアップグレードガイド](#)
- [Cisco Catalyst 9500シリーズスイッチ、Cisco IOS® XE Cupertino 17.9.xリリースノート \(章 : 互換性マトリクスおよび Web UIシステム要件 \)](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

- [Cisco Bug ID CSCwh87343](#) - Cisco IOS® XEソフトウェアのWeb UIにおける権限昇格の脆弱性

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。